

令和 7 年度

定 期 総 会

事業報告

想いをつなげる。カタチにする。

N P O 法 人

湘 南 ス タ イ ル

令和 7 年 6 月 27 日(金) 18 : 30 ~

茅ヶ崎市勤労市民会館

定 期 総 会 次 第

1. 開会挨拶

1. 理事長挨拶

1. 第 1 号議案 令和 6 年度 事業報告

1. 第 2 号議案 令和 6 年度 決算報告・監査報告

1. 第 3 号議案 令和 7 年度 事業計画（案）

1. 第 4 号議案 令和 7 年度 収支予算（案）

1. 第 5 号議案 理事・監事の改選

・新理事挨拶

・事務局長紹介

＜総括報告＞

本年も無事、事業を推進できたことメンバーの皆さんに感謝いたします。
理事長に就任してから2期4年間活動をして来ました。中心的に活動を共にしているメンバーの方とは密に連絡を取り合いながらプロジェクトを進めて来ましたが、サポートしていただけるメンバーの方への情報発信が足りず、活動内容が見えないのご意見をいただくなど、反省点も多くある1年でした。後ほどご承認をいただければと思いますが、今年度からは新理事と事務局長にサポートしていただきながら、湘南スタイルの活動を行っていければと思っております。

＜設立から現在＞

2005年、自主事業で成り立たせるNPO運営を目指し、
●湘南地域の情報発信ポータルサイト「湘南スタイル」の運営・広告募集事業
●湘南地域の産業発展を目指した「湘南ブランド」の創出
●湘南「海の駅・山の駅」建設提案
の事業を掲げ、産業・市民・公共機関の3分野をつなぎ、地域の活性化を目指してスタートし現在に至っています。

設立からの3年間は、志はあれど活動資金は乏しく、組織運営上大変厳しい時代でした。NPOを自主事業で成り立たせることは難しく、岐路に立っていた2009年、組織運営と地域課題解決の糸口と出会ったのは、神奈川県のパランタリー活動基金21に「湘南みかんの木パートナーシップ」プログラムでエントリーし、4年間の協働事業を受託したことに同時に、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業「食と農のポータルサイト・おいしい茅ヶ崎」の事業受託でした。

2つの行政との事業受託したことで、事務局職員の人件費を計上することができ、NPOとして組織運営上、自立の目途が立ったことが大きなきっかけとなりました。

2つの協働事業をきっかけに「食と農」をテーマに社会課題解決のための視点でメンバーが知恵を出し合った結果

茅ヶ崎市産米使用災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発

農水省6次産業化支援事業の神奈川県内の農水産業者42社に対し、4名のプランナーを派遣し、6次産業化の礎を築く事業の実施。

引きつづき、農水省「農ある暮らしづくり交付金」の受託により「ふれあい田んぼ塾」「ふれあい畑塾」の事業を実施、持続可能な仕組みを築いてきました。

続いて、茅ヶ崎市との6課連携による「茅ヶ崎100年PJ」として、現「道の駅」予定地一帯の柳島向河原地区アクションプランとしての土地利用基本計画を茅ヶ崎市より業務委託を受け冊子を制作し、茅ヶ崎市へ提示しました。

その後、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業を通じ、「FuboLabo」「文化生涯ポータルサイト」「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」など、茅ヶ崎の情報発信に協力し、団体としてのWeb発信力を築くことができました。

湘南地域の情報ポータルサイトを築くため、設立当初湘南地域の有力企業に2年間かけて80社ほど営業活動に回った苦労を思い出します。そのような中で慶応大学SFCとの産学連携で「人参焼酎さん」の開発・「浜降祭ライブ中継」や環境保全の視点から「ベロタクシー」の運行など厳しい経営環境の中で、NPOとして、どのような運営・資金計画をしていくべきかを学習した時期でした。

以降、コミュニティビジネスを通じての事業は、どの事業も在庫リスク「0」の仕組み形成で、受注や参加を確定してから運営を開始することを基盤に進め危険リスクを回避しています。是非事業者の方は、参考にして下さい。

2009年、神奈川ビジネスオーディションにエントリーし、県知事奨励賞・経営士会賞・コミュニティビジネス賞の3賞を受賞し注目を浴びるNPOとなりました。神奈川県中小企業センターより、経済産業省が新規開設するNPO出資事業の強い勧めがあり、10年間の出資助成（劣後ローン）を受けることとなりました。

平成30年度には実施事業の他、アグリビジネスコンサル事業などで予算を上回る収益を上げることができ、出資助成以外の借入金を返済することができました。

また、令和1年度は前々理事長の薫品様より500万の寄付金を頂き、借入金を全額返済する事ができました。

令和2年度は、身軽になった団体でコロナ関連の補助金を除いても、次年度の活動費を残せる体制になっております。

2018年から3年間行った「かながわボランティア活動推進基金21」との協働事業「湘南ワンハンドレッドプロジェクト」では、大変多くの方に関わっていただき、団体としての活動の幅が大きく広がるきっかけとなりました。

2023年11月には「湘南ワンハンドレッドプロジェクト」を進化させた「まちがまるごと仮想会社 ちがさきカンパニー」を新しいプロジェクトとしてスタートさせることができました。地域活動をボランティアに頼るのではなく、地域課題を解決しながら活動に見合った対価を得られる地域参加の仕組みづくりを助成金もうまく利用しつつ推進していきます。

2023年に立ち上がった茅ヶ崎カンパニーは現在60名を超えるメンバーが所属しており、湘南スタイルのメンバーも中心的な役割で関わっています。湘南スタイルの理念でもある、「地域のためになるかどうか、人のためになるかどうか」を行動基準に持続可能な仕組みづくりを提案しています。

<第 1 号議案>

NPO 法人湘南スタイル 令和 6 年度事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

1.日程 開催会議

定時総会 2024年6月25日(火)

2.実施事業報告

- | | |
|---------------------------|-------|
| ① 湘南みかんの木パートナーシッププログラム | 16 年目 |
| ② ふれあい畑塾 | 12 年目 |
| ③ 農産加工品販売「湘南工房」 | 12 年目 |
| ④ 茅ヶ崎カンパニー(湘南 100 プロジェクト) | 7 年目 |
| ⑤ 湘南フードトラック協会 | 5 年目 |

以上 5 つの PJ を無事終了することができました。

既存のプロジェクトは継続しつつ、新たなプロジェクトも軌道に乗り始め充実の 1 年となった。

3.財務状況

当期は前期同様に大きな補助金・助成金もなかったが、湘南フードトラック協会の事業の利益が大幅に増え、約 80 万円の黒字となった。資金繰りも不安なくまわっている。

特定非営利活動に係る事業

<事業内容>

1. 湘南「みかんの木パートナーシップ」事業 16年目

<内容>大磯・二宮地区のみかんの木パートナーシップ組合から運営委託を受けサポートを行った。参加農家数は3軒（二挺木・井上・北原）新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止していた、みかん狩りイベントを再開して3年目。パートナー分が24口120箱、その他の販売が63箱で合計1,830kgのみかんを出荷。加工用のみかんについては1,200kgを進和学園に納品。合計3,030kgのみかんを農家さんから購入することができた。

【課題】

温州みかんの出荷量が年々減少する中で値上がりが続けており、今年は300円/kg～350円/kgで農家さんから購入。直売に出すと400円で販売できることもあり、みかんを集めることに苦労をした。昨年度から返礼品のみかんジュースセットを1箱減らす対応をしていたが、当プロジェクト単体の収支はマイナス2万円となってしまった。今年はパートナーシップの販売価格を2,000円あげて対応する予定。

【大学との連携】

今年度も東海大学との連携は継続しており、4月26日には大磯町にプレゼンする機会を作ることができた。また、山口直さんと共に万城目ゼミの授業において計3回学外講師を担当した。昨年までは湘南みかんを活用した新規事業を学生が考えプレゼンするところまでの授業だったが、今年度は株式会社茅ヶ崎香料さんとデザイン学科の富田ゼミ協力のもと実際に商品化まで行うことができた。開発した商品は万城目ゼミの新3年生とともにクラファンを準備中。

東大みかん愛好会とはコロナをきっかけに関係が薄くなっていたが、再度関係を強化するべく打ち合わせを重ねている。

【活動報告】

- 4月2日(火) 東海大学万城目ゼミ 新年度キックオフミーティング
- 4月17日(火) 東海大学万城目ゼミ 打ち合わせ
- 4月18日(木) 東大みかん愛好会打ち合わせ
- 4月26日(金) 東海大学 大磯町プレゼン
- 5月10日(金) 東海大学 みかんお花見・第1回目授業
- 5月24日(金) 東海大学万城目ゼミ 第2回目授業
- 6月21日(金) 東海大学万城目ゼミ 第3回目授業
- 6月28日(金) 東海大学万城目ゼミ プレゼン会
- 7月19日(金) みかん摘果体験 東海大学万城目ゼミ・富田ゼミ・サス研
- 9月11日(水) 東海大学万城目ゼミ 茅ヶ崎香料打ち合わせ
- 10月18日(金) 東海大学富田ゼミ 茅ヶ崎香料打ち合わせ

11月23日(土) 二挺木農園みかん狩りイベント
 11月25日(月) 東海大学富田ゼミ 商品ラベル打ち合わせ
 11月30日(土) 井上農園・北原農園みかん狩りイベント

・PJメンバー 中村(雅)・山口直・菊池奈々・渡部
 ・対象者 みかん農家・一般消費者・企業
 ・決算額 企画・パンフ・イベント・みかん代金・加工品 105万円

2.ふれあい畑塾 12年目

〈内容〉畑塾は鈴木塾長との連携により、東・西・南3か所計40区画で展開。募集方法を随時募集に切り替えたことと、社会的情勢から順調に事業が進んでいる。

畑に看板を設置したこともあり問い合わせも継続的に入っている。

11月17日には山宮さん宅で秋の収穫祭を開催。塾生との交流をはかるいい機会となっている。今年度も秋に開催予定。

【活動報告】

毎月第2第4土曜日	東・西区画指導日
毎月第2第4日曜日	南区画指導日
5月6日(月・祝)	ほうれん草狩り放題イベント
8月9日(金)	枝豆狩り放題イベント
8月18日(日)	現地説明会
10月2日(水)	現地説明会
10月18日(金)	現地説明会
10月28日(金)	現地説明会
11月17日(日)	秋の収穫祭
12月7日(土)	現地説明会
2月1日(土)	現地説明会

・PJメンバー リーダー：渡部 指導者：鈴木
 ・対象者 農家・市民・企業
 ・決算額 企画・パンフ・イベント費 5万円

3.地場商材開発販売「湘南工房」 12 年目

＜内容＞災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業とみかんパートナーシッププログラムから発展した湘南みかんの加工品及びトマトジュース等、地産地消を推進する農産加工品開発販売事業。

農産加工品については、ダイナックが運営するゴルフ場 5 件を中心に、地域の「C の辺り」「とまり木」「TREX OCEAN VILLAGE」で販売中。

相鉄線ゆめが丘駅隣接の商業施設「ゆめが丘ソラトス」内のテナント「YYYard」ではみかんジュース 180ml の販売と併設のカフェでの取り扱いがスタート。

・PJ メンバー リーダー：渡部

・対 象 者 農家・市民・企業

・決 算 額 農産物仕入・資材・運賃・営業費 329 万円

4.茅ヶ崎カンパニー(湘南ワンハンドレッドプロジェクト) 7 年目

＜内容＞2018 年から 3 年間かながわボランティア活動推進基金 21・協働事業負担金の事業として神奈川県基金事業課を通じ、神奈川県総合政策課及び湘南地域県政総合センター企画調整課との連携によりスタートした事業。

昨年度よりまちの人事部「まちがまるごと仮想会社茅ヶ崎カンパニー」という発展系のプロジェクトを本格始動させ現在は約 60 名のメンバーが茅ヶ崎カンパニーに所属して活動中。

中心メンバーが「コミュニティグループ」「プロジェクト案件グループ」「広報・制作グループ」「コーポレートグループ」「助成金調達支援グループ」「企業案件・外部案件グループ」の 6 つのグループに分かれプロジェクトを推進している。

トヨタ財団の 2024 年度国内助成プログラム「地域における自治を推進するための基盤づくり」の助成金に採択されたことにより、活動の幅がさらに広がり取り組みの深まりが一層加速している。

【活動報告】

6 月 26 日(水)	カンパニーミーティング
7 月 17 日(水)	ボードメンバーミーティング
8 月 14 日(水)	ボードメンバーミーティング
8 月 27 日(水)	カンパニードリンクス
9 月 11 日(水)	ボードメンバーミーティング
9 月 18 日(水)	カンパニードリンクス
10 月 9 日(水)	ボードメンバーミーティング
11 月 13 日(水)	ボードメンバーミーティング
11 月 20 日(水)	カンパニーミーティング
12 月 11 日(水)	ボードメンバーミーティング
12 月 17 日(火)	カンパニードリンクス

1月8日(水)	ボードメンバーミーティング
1月22日(水)	カンパニーミーティング
2月12日(水)	ボードメンバーミーティング
2月19日(水)	カンパニードリンクス
3月12日(水)	ボードメンバーミーティング
3月19日(水)	カンパニーミーティング

・PJメンバー 中村(容)・山口(順)・内波・池田・原・市川・小野寺・大西
中島・山口(直)・四條・渡部

・対象者 地域住民・企業

・決算額 企画・運営・イベント費・消耗品 158万円

5.湘南フードトラック協会)5年目

〈内容〉ニューノーマル時代の新しいカタチの食の提案や、キッチンカー、フードトラックを活用した地域活性を行う湘南フードトラック協会との協働プロジェクト。当団体のバックオフィス機能の提供や、新規出店場所の開拓、キッチンカーを起点にしたイベントの提案等を行う。

今期も南湖の住友電工オブティフロンティアの納涼祭や、東邦チタニウムランチ出店など、地元企業との取り組みを継続中。トライアルサウンディングを活用した茅ヶ崎市役所前広場でのキッチンカーウィークも毎月平日5日間で開催中。市内で開催されるイベントへのキッチンカーの手配サポートも行っている。

茅ヶ崎市とは災害時にキッチンカーによる避難所での炊き出し等を行うなどの災害協定を締結し、行政との連携も深めている。

2025年7月7日開業予定の「道の駅 湘南ちがさき」とも出店に向けた協議を行なっている。

【活動報告】

4月3日(水)	広報メンバーミーティング
4月8日(月)	日本キッチンカー経営審議会
5月7日(火)	東邦チタニウム訪問
5月15日(水)	運営メンバーミーティング
5月23日(木)	モリタ宮田工業訪問
5月27日(月)	運営メンバーミーティング
5月28日(火)	広報メンバーミーティング
6月24日(月)	運営メンバーミーティング
6月5日(金)	茅ヶ崎市資産経営課訪問
7月9日(火)	日本キッチンカー経営審議会
7月26日(金)	市役所ビアガーデン
7月27日(土)	市役所ビアガーデン

7月31日(水)	茅ヶ崎 FM との打ち合わせ
8月8日(木)	運営メンバーミーティング
8月21日(水)	東邦チタニウム納涼祭
8月30日(金)	モリタ宮田工業納涼祭
9月6日(金)	茅ヶ崎 FM 主催 タ市
9月7日(土)	茅ヶ崎 FM 主催 タ市
9月30日(月)	運営メンバーミーティング
11月3日(火)	運営メンバーミーティング
12月13日(金)	運営メンバーミーティング
1月27日(月)	運営メンバーミーティング
2月13日(木)	運営メンバーミーティング
3月26日(水)	運営メンバーミーティング

・PJメンバー	内波・渡部	
・対象者	地域住民・企業	
・決算額	出店料・企画・運営・イベント費・消耗品	60万

3. 組織

(1) 会員

正会員 20 名(理事含む) 会員 4 名 アドバイザー 1 名
理事長 渡部健 理事 清水謙・市川靖洋・那須かおり
監事 四條邦夫

正会員	20 名	順不同	敬称略		
竹村治亘	(会社経営)	杉村一憲	(市民活動家)	藁品孝久	(市民活動家)
中村雅和	(社会保険労務士)	西村誠	(会社経営)	市川歩	(会社経営)
中村容	(大学職員)	山口順平	(市議会議員)	四條邦夫	(NPO 代表)
那須かおり	(法人代表)	内波義雄	(会社経営)	池田一彦	(会社経営)
山口直	(会社経営)	小野寺元希	(看護師)	原悠樹	(会社経営)
清水謙	(会社経営)	市川靖洋	(会社経営)	中島淳	(会社経営)
大西裕太	(会社経営)	渡部健	(NPO 代表)		

会員	3 名	順不同	敬称略		
久保田邦邇	(市民活動家)	鈴木稔彦	(農家)	菊池奈々	(市民活動家)
山宮立珠	(ピアノ講師)				

法人会員 3 社
(株)ボンド (特非)セカンドワーク協会 (一社)4Hearts

アドバイザー 1 名
川廷昌弘

名誉顧問 2 名
竹村治亘 杉村一憲

<第2号議案> 令和 6年度 活動計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

科 目	予算	決算額	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	492,000	81,000	
2 法人会費	30,000	0	
3 法人事業収入	400,000	20,000	平塚中等教育学校
4 湘南スタイル交流会・イベント費	0	54,000	懇親会
5 湘南みかんパートナーシップ事業	1,535,000	1,026,400	パートナーシップ24口、みかん販売 63口
6 ふれあい畑塾	1,100,000	944,912	39区画、イベント会費収入
7 地場商材開発販売「湘南工房」	3,000,000	3,752,716	おかゆ・みかん・トマト商品、アグリビジネス販売
8 湘南100PRJ	100,000	71,300	業務受託料
9 ちがさきカンパニー	700,000	1,897,700	業務受託料、会費、イベント会費収入、助成金
10 キッチンカー・フードトラック事業	240,000	2,098,646	出店料、手配手数料
11 トヨタ財団	240,000	2,340,966	のきさきフルーツプロジェクト助成金
当期収入計(A)	7,837,000	12,287,640	
その他収益事業会計より繰り入れ	0		
当期収入合計 (A)	7,837,000	12,287,640	
II 支出の部			
1 事業費	総事業費		
①湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	会費・イベント等
②湘南みかんパートナーシップ事業	1,285,000	1,049,802	パートナーシップみかん代金・配送費等
③ふれあい畑塾	50,000	49,098	謝金、イベント費等
④地場商材開発販売「湘南工房」	2,640,000	3,294,540	みかん・トマトの原材料等
⑤湘南100PRJ	80,000	64,880	人件費、謝金、イベント費
⑥ちがさきカンパニー	520,000	1,512,272	業務委託費(HP制作費・PR動画制作費)
⑦キッチンカー・フードトラック事業	50,000	606,114	人件費、業務委託料、会議費、賃借料
⑧トヨタ財団	0	2,340,966	のきさきフルーツプロジェクト 経理委任
当期事業支出(B)	4,625,000	8,917,672	
2 管理費			
① 給料手当	1,800,000	1,800,000	団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	0	0	アルバイトスタッフ等
③ 運賃	30,000	17,433	配送料
④ 会議費・接待交際費	50,000	27,660	葬儀生花、お香典
⑤ 旅費交通費	20,000	3,690	駐車料、高速代
⑥ 通信費	80,000	73,926	電話・郵便
⑦ 消耗品費	80,000	114,418	事務関連
⑧ 水道光熱費	0	0	
⑨ 諸会費	50,000	11,000	湘南振興財団、しおかぜ湘南
⑩ 支払手数料	60,000	52,924	振込料、ネットバンキング使用料
⑪ 賃借料	150,000	-90,000	コンテナ使用料、トヨタ財団 倉庫料入金
⑫ 保険料	50,000	47,394	NPO団体保険料
⑬ 租税公課	70,000	138,800	法人税・県民税・消費税・登記簿謄本
⑭ 雑費	10,000	0	
⑮ 顧問料	270,000	287,644	税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	50,000	0	
⑰ Webコンテンツ制作費	0	0	
⑱ イベント費	50,000	53,730	総会懇親会
⑲ 業務委託料	360,000	0	
事業管理費計(C)	3,180,000	2,538,619	
当期事業支出 (D) (B)+(C)	7,805,000	11,456,291	
事業費振替額 (E)			
当期収益 (F) (A)-(D)+(E)	32,000	831,349	
その他事業会計より繰入	0		
営業外損益 (G)	0	983	受取利息
借入金返済支出	0	0	
経常利益 (H)=(E)-(F))	32,000	832,332	
次期繰越金			

＜第2号議案＞ 令和6年度 活動計算書

(その他事業に係る事業会計)

2024年4月1日から2025年3月31日まで

科 目	予算	決算額	備 考
I 収入の部			
1 事業収入			
①Web広告事業収入	0	0	
②その他広告事業収入	0	0	
当期収入計(A)	0	0	
その他収益事業会計より繰り入れ	0	0	
当期収入合計(A)	0	0	
II 支出の部			
1 事業費			
①ポータルサイト広告募集事業			事業計画書(その他の事業) のとおり サーバー構築費 インターネット回線
Webサーバー設置費	0	0	
通信費	0	0	
②その他の広告募集事業	0	0	
当期事業支出(B)	0	0	
2 管理費			
消耗品費	0	0	
通信費	0	0	
研修費	0	0	
会議費	0	0	
事業管理費計(C)	0	0	
当期事業支出(D) (B)+(C)	0	0	
当期収支差額(A)-(D)	0	0	特定非営利活動事業会計へ繰入

貸 借 対 照 表

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和7年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 3,811,769 】	【 流動負債 】	【 2,562,563 】
現 金	25,739	買掛金	350,296
小口現金	135,448	未払金	66,900
普通預金	3,134,019	預り金	1,383,117
商品	353,558	仮受金	762,250
未収入金	150,505		
前払費用	12,500		
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
		負債の部合計	2,562,563
		純資産の部	
		【 株主資本合計 】	【 1,249,206 】
		【 資本金 】	【 0 】
		当期純損益金額	832,332
		【 利益剰余金計 】	【 1,249,206 】
		繰越利益剰余金合計	1,249,206
		純資産合計	1,249,206
資産の部合計	3,811,769	負債・純資産の部合計	3,811,769

貸 借 対 照 表

(その他事業に係る事業会計)

令和7年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 0 】	【 流動負債 】	【 0 】
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
敷 金		長期借入金	
		負債の部合計	0
		純資産の部	
		【 株主資本計 】	【 】
		【 資本金 】	【 】
		【 利益剰余金計 】	【 0 】
		繰越利益剰余金	0
		純資産合計	0
資産の部合計	0	負債・純資産の部合計	0

令和6年度財産目録
令和7年3月31日 現在
(特定非営利活動に係る事業会計)

科目		摘要	金額	合計
資 産	現金	手許現金在高	25,739	
	小口現金	トヨタ財団 手許現金在高	135,448	
	普通預金	湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部	1,938,814	
		湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部 トヨタ財団	1,193,497	
		さがみ農協 茅ヶ崎支店	986	
		湘南農協 八重咲支所	722	
	商 品	期末在庫 みかん加工品	353,558	
	前払費用	テナント倉庫料 4月分	12,500	
負 債	未収入金	(株) ダイナックパートナーズ 他 2件	150,505	
	買掛金	進和学園 他 3件	350,296	
	未払金	ワイド倶楽部	66,900	
	預り金	トヨタ財団、源泉所得税 他	1,383,117	
	仮受金	ふれあい畑塾 30区画	762,250	

令和6年度財産目録
令和7年3月31日 現在
(その他事業に係る事業会計)

	科目	摘要	金額	合計
資 産				
			0	
負 債				
			0	

令和6年度監査報告

令和6年度 湘南スタイル監査報告

令和6年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の事業報告書、活動計算書、貸借対照表
財産目録及び附属会計関係の明細を監査した結果、適法に処理記載されていると認める。

2025年6月26日

神奈川県茅ヶ崎市室田2丁目12番22号
監事 四條 邦夫

<設立からの経緯>

実施時期	活動実績	活動の目的
西暦 2005 年 6 月 2006 年 3 月	5. 湘南地域ポータル Web サイト構築準備 (http://www.shonan-style.jp) 2. メンバー拡大 (設立時正会員 14 名) 3. 自主運営事業創出活動模索 4. 国・県・茅ヶ崎市等公的機関連携模索 5. 産学連携先模索	●地域貢献・社会貢献や人間関係の形成を基盤とする「持続可能な社会づくり」の実現に向け、地域の活性化活動と自己実現を共生させる研鑽の場として 2005 年 6 月、まちづくり NPO 法人設立。 ・地域のためになるかどうか ・人のためになるかどうか を行動の第一選択事項として活動しています。
西暦 2006 年 4 月 2007 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイト 5 月 1 日立上げ 2. メンバー拡大 (協賛会員拡大 8 名) 3. 湘南ブランド創出事業・人參湘耐さん開発発売 4. 神奈川県コミュニティビジネスオーディション入選 5. 神奈川県創業実現モデル事業支援対象事業者認定	●地域の活性化は、地域内で活動する、市民・NPO、産業者 (商業・工業・漁業・農業)、公共機関の 3 分野をつなぐ中間支援組織の役割が重要である。さらに、単一の市域の枠を超えて、隣接するエリアをつなぐ広域連携が重要と考え、ポータルサイトの充実と神奈川県との連携強化を視野に入れた事業を行った。
西暦 2007 年 4 月 2008 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 慶應大学 S F C との連携による地域コミュニティ創出検証事業・浜降祭インターネットライブ中継の実施 3. ベロタクシー運行事業 (環境エネルギー問題啓発事業) 4. メンバー拡大 (正会員 14 名・賛助会員 21 名)	●当該年度の目標は、「産・官・学・民」の枠組みを築くため、慶應大学・文教大学、日本大学等、エリア内の大学との連携を行い、湘南地域の活性化をテーマに進める各校の教授・准教授との親交を深めた。市民や観光客の環境・エネルギー問題に関する意識高揚と省エネ型の交通手段の実証実験を目的として、公的機関の協力を得て、人が多く集まる夏季に人カタクシーを運行した。
西暦 2008 年 4 月 2009 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 茅ヶ崎市市民提案型協働推進事業「おいしい茅ヶ崎」受託 (http://oishi-chigasaki.com/) 3. 茅ヶ崎市産米使用・災害備蓄食糧「おかゆ」開発発売 2009 年 2 月 14,000 食完売 (茅ヶ崎市 8,000 食納入) 4. メンバー拡大 (正会員 14 名・賛助会員 28 名)	●「まちづくり NPO 法人」としての 3 年間の事業活動から、地域活性化の啓発・推進には、市民・産業・行政の 3 分野の全てにかかわりの深い「食と農」が最も効果的であると考え、地産地消の推進・安心安全な食・フードマイレージなど地域課題解決に向けた事業を実施した。その結果、茅

		ヶ崎市や農業者・産業者の協力が増え、Webアクセスからメンバー拡大につながった。
西暦 2009年4月 2010年3月	1. 湘南地域ポータルサイトの充実 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかん（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出PJ開始 ○経済産業省・まちづくり活動支援融資（政策金融公庫出資金、劣後ローン第一号）	●2009年度は、メディア取材が増え、湘南地域の活性化を担うNPOとしての認知度も高まった。2010度実施する「ふれあい田んぼ塾」は、茅ヶ崎市の学童保育に通う学童が80名参加し、収穫後に、災害備蓄食糧「おかゆ」に生まれ変わる稲作栽培を実施する予定となっている。また東海大学の教養学部との連携により、地域の活性化と実践的な教育の場の創出を目的として、学年横断型全体授業として、当該事業「湘南まるごと交流空間」を実施する。
西暦 2010年4月 2011年3月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出PJ開始 7. 「農（みのり）の駅」創出PJ 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●設立6年度目として、総事業費が、ようやく1000万円を超えるところまで、到達。しかし、依然として、不足資金が当該年度50万円、累計で850万円。湘南スタイル「みかんの木・パートナーシップ」プログラムが、コミュニティービジネスの範として、評価され、神奈川県との協働事業として決定。同時に、日本財団の助成事業としても決定。かながわビジネスオーディションにおいて、奨励賞・CB賞・日本経営士会賞を受賞。地産地消推進団体として、農林水産省より表彰。
西暦 2011年4月 2012年3月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 農水省6次産業化委託事業 7. 神奈川県緊急雇用創出委託事業 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●神奈川県との協働事業を開始したことで、初めての職員を採用でき、組織運営が潤滑になった。また、期中に農水省並びに神奈川県からの事業委託を受託。総収入が前年度実績の3倍、累積の欠損を穴埋めすることができ、大きく飛躍した年度となった。 茅ヶ崎市との連携も進み、「農の駅」創出のための官民連携として、ちがさ

		き百年プロジェクト（協働推進）が関連 8 課と連携して勉強会がスタート。
西暦 2012 年 4 月 2013 年 3 月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter ）運営管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 茅ヶ崎市協働事業：お父さん・お母さん のための子育て情報サイト「FuboLabo ちがさき」開設 7. 茅ヶ崎市「柳島向河原地区アクションプラン作成業務」委託事業	●設立時 ・湘南独自のポータルサイト運営 ・異業種混合地域統一ブランドの開発、プロデュース ・湘南「海の駅・山の駅」設置提案 以上 3 点の実現に向け、事業をスタートさせてきたが、当該年度、茅ヶ崎市との 8 課連携により、柳島地区のアクションプランを作成、設立時の目標に近づいたと実感する年度となった。
西暦 2013 年 4 月 2014 年 3 月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 茅ヶ崎市協働事業「文化生涯ポータルサイト」 4. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 5. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 6. ふれあい田んぼ塾 7. ふれあい畑塾 8. 6 次産業化推進事業「農産品加工工場建設」促進事業	●設立 8 年目にして、消費税の課税 NPO 事業者となり、税務の面においても社会貢献する NPO となったことは感慨深い。これまで実践してきた、コミュニティビジネスに関する講演依頼が、県内から 4 か所あった。 ●農水省 6 次産業化事業で、連携先である、平塚の社会福祉法人「進和学園」に農産加工場設置が決定し、平成 26 年度運用が開始される。就労支援・農業支援を通じ、県内初の試みを進めるため、販路開拓・広報支援を依頼され、コンサルタント事業を開始する。
西暦 2014 年 4 月 2015 年 3 月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6 次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業	市民・産業者・行政をつなぎ、地域活性化か活動を推進するため、「食と農」を通じた公的機関との連携を目的に助成金の公募にエントリーし、受託され関係を築いてきた。しかしながら、 ●神奈川県協働事業（4 年間）の最終。 ●農水省農ある暮らしづくり交付金（ 上記、2 事業を持続可能な仕組みへの移 2 年間）の最終年度。行させることが、助成金を活用する本来の意

		義であるが、受託金額が大きいほどその難しさを感じており、規模を縮小して継続事業とする。
西暦 2015年4月 2016年3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリ 一、2件の協働事業の採択が決定。	「みんなで創る湘南スタイル」のスローガンのもと、新たな10年に向かってスタートした。 国・県・市の助成事業が終了し、団体として自主運営していくことができるかどうかを問われる年度となった。 同時に、メンバーの新旧交代に時期に入っており、組織運営について、一年の理事会を通じて、定款の目的・会員区分の変更などを含め、活動メンバーや新規参加メンバーに対し、解りやすいパンフレットや組織体制図を作成 東大みかん愛好会・JT Bと連携して、みかん観光列車を小田原迄運行した。
西暦 2016年4月 2017年3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい畑塾の運営 6. 6次産業コンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発事業 8. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「落書き防止・抑制のためのペイント事業」 10. JT 財団 NOP 助成事業 11. その他の事業	茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリーし、茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業並びに落書き防止のためのアートペイント事業をそれぞれ2年間に渡り実施している。2事業とも友好他団体との連携で事業を進めている。 また、JT 財団 NPO 助成事業に「ふれあい畑塾」関連で、事業を受託した。 事業受託により、畑塾メンバーの活動費が生まれ、実験農地として、炭素循環農法などを研究している。 別途、(財)食品産業センター及び(財)中央果実協会からの声がかかり、左記10・11の事業を実施した。単年度事業であり、かつ団体活動に直接関連する事業でなかったにもかかわらず、負担が大きかった。

西暦 2017年4月 2018年3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. ふれあい畑塾の運営 5. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 6. アグリビジネスコンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発販売事業 8. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市協働事業 9. 「落書き防止・抑制のためのペイント事業」：茅ヶ崎協働事業 10. JT 助成担い手育成事業 11. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 12. その他の事業	NPO活動は、企業も同様であるが、組織運営維持のための収入をどう確保する仕組みを創るかにかかっている。ただ、NPOは、企業と違い社会貢献活動を事業構造の中心に据え、CB／SBの手法を使い、自己の持つ社会課題を解決する仕組みをメンバーの英知や行動で実現する楽しみがある。 社会課題は、行政も多くを抱えており、その解決策を補助金・助成金や委託事業として募集している。それらをよく見極め活用していくことも重要なファクターであり、本年度も茅ヶ崎市から3事業とJTの4事業が。さらには、みかん、畑、農産加工、6次産業化など多くの事業が関係している。
--------------------------	--	--

西暦 2018年4月 2019年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. JT 助成担い手育成事業 7. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 8. 神奈川県ボランティア活動基金21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 9. 湘南スタイルホームページ運営事業	新年号「令和」に代わる2019年度は、設立以来、理事長を務めてきた薫品から新理事長市川信治（茅ヶ崎技研㈱代表取締役）氏に引き継ぐ。 開設時から5年間に積み重ねていた負債を軽減するために経費の削減と新規事業及び業務委託を受け、湘南工房製品の販路開拓及び新商品開発を実施したことで、収入を増加させ、次年度の負担を軽減することができた。 神奈川県からNPO研修を毎年受入れしているが、その中で、新たな連携が始まり、二宮町も含め農産加工品の商品開発・販路拡大が開始された。また、新たに神奈川県とスタートしたボランティア活動基金21の協働事業のお蔭で、メンバーも増え団体の運営に明るい兆しが見えてきている。
--------------------------	---	--

		昨年度から実施してきた、エディブルパーク茅ヶ崎は、事業主体者へ業務を移管した。
西暦 2019年4月 2020年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. 神奈川県ボランティア活動基金 21 協働事業「湘南ワンハンドレッドプロジェクト」 7. 湘南スタイルホームページ運営事業	市川新理事長の元、新しい湘南スタイルのあり方をメンバーと考え実践した。湘南スタイルとして行うべき事業への選択と集中。日常業務の効率化、会議体の見直しを図った。当初は茅ヶ崎市への移住に関する事業を開始予定だったが行政との調整がつかず移住に関する新規事業を開始することができなかった。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトは2年目が終わり、協働事業最終年度を見据え自走できる仕組みづくりをテーマに各リーダーが中心となり進め、2年目の取り組みは県からも高い評価をもらうことができた。

西暦 2020 年 4 月 2021 年 3 月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 地場産品・農産加工品販売事業 4. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト 5. キッチンカー・フードトラック事業 6. 湘南スタイルホームページ運営事業	市川理事長体制の最終年。次世代への引き継ぎを中心に事業と業務の効率化を図り、持続可能な団体づくりに注力をした。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトの最終年度で集大成として精力的に活動した。HP からの問い合わせも多く、社会の関心の高さを再認識し、協働事業終了後の自走できる仕組みづくりに各 PJ リーダーと取り組む。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトを通して、様々な属性をもつ方との関係ができて、団体のプロジェクトにも積極的に関わる方も出てきて、活動の幅が広がった 1 年となった。 コロナ禍で新しい生活様式が求められる中、湘南スタイルの活動や関わる方の参加の仕方も大きく変化した。みかんはイベントが中止となった一方、畑塾は参加者が増えた。移住者が増えてきたこともあり、地域の事業者と協力をして、移住者と定住者とのコミュニティを作ることを目的に「移住座談会」を 2 回実施し、湘南エリアへ魅力と問題点を再度認識知ることができた。
---	---	---

西暦 2021 年 4 月 2022 年 3 月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 地場産品・農産加工品販売事業 4. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト 5. キッチンカー・フードトラック事業 1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 地場産品・農産加工品販売事業 4. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト 茅ヶ崎カンパニー 5. キッチンカー・フードトラック事業	市川前理事長から渡部が代表を引き継ぎ、事務局を兼務しながら活動を継続。既存の活動を継続しつつ、新たな湘南スタイルのあり方を模索する１年となった。湘南みかんの木パートナーシッププロジェクトではこれまでの販路拡大や収穫サポートなどの支援から、後継者問題など持続可能な産業への移行が新たな支援と位置づけ、地域の大学や地域の方との連携を強化した１年となった。ふれあい畑塾ではコロナ禍の新たな生活様式の中で、農ある暮らしを取り入れる方が増えて来たことを実感し、専業農家による指導付き貸し農園を新たな農業のスタイルとすべく活動を継続した。県の負担金事業が終了した湘南ワンハンドレッドプロジェクトでは、活動規模は縮小したもののメンバーがそれぞれ自走可能な活動を模索し、新たな芽が出始めてきている。団体としては新たなメンバーも増え、できる人が、できる事を、できる時に活動をする社会貢献の仕組みを作り上げるべく活動をした。
西暦 2022 年 4 月 2023 年 3 月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 地場産品・農産加工品販売事業 4. 茅ヶ崎カンパニー 5. 湘南フードトラック協会	売上こそ前期を大きく下回ったが、経費の圧縮効果などもあり収益は改善傾向となったが、財務体質の安定化が大きな課題となる。既存のプロジェクトは時代に合わせながら軌道修正を重ねている。湘南みかんの木パートナーシップでは大学や地域の団体との連携を深め持続可能な農業・産業への転換を模索している。ふれあい畑塾では生産緑地の指定から３０年が経過した農地が茅ヶ崎市内でも出て

西暦 2023 年 4 月 2024 年 3 月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 地場産品・農産加工品販売事業 4. 茅ヶ崎カンパニー 5. 湘南フードトラック協会	きていることから、農地保全が喫緊の課題と認識し、行政への働きかけを続けている。市民側の農ある暮らしに対する需要はとても高く、新たな農家さんとの連携が課題となる。 湘南ワンハンドレッドから派生した企画ちがさきカンパニー構想を推し進めるべくメンバーと制度設計等の打ち合わせを重ね、2023 年度中旬ローンチに向け活動を継続している。湘南ワンハンドレッドプロジェクトから派生した「まちがまるごと仮想会社茅ヶ崎カンパニー」が始動し、40 名を超えるメンバーが集まり地域課題の解決に向けて活動を開始した。市民活動がボランティアだけではなく、活動に見合った対価が得られるよう、企業や行政の有償案件を取るべく仕組みづくりを行なっている。湘南ワンハンドレッドプロジェクトが終了してからは補助金・助成金に一切エントリーせずに団体運営をしてきたが、茅ヶ崎カンパニーを通して活動をする中で、資金があれば活動の幅が広がるプロジェクトに対しては積極的に助成金にエントリーし活動を持続可能なものとするようチャレンジしている。 また、過去行っていたプロジェクトで田んぼの復活を長年検討していたが、今年度念願が叶って EARTHING FIELD と協働で活動を開始することができた。今年度は試験的な運用だったが来期は収益化でき、より多くの耕作放棄地を再生できるようプロジェクトを進める。
---	---	---

西暦 2024 年 4 月 2025 年 3 月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 地場産品・農産加工品販売事業 4. 茅ヶ崎カンパニー 5. 湘南フードトラック協会	2023 年 11 月にスタートした「まちがまるごと仮想会社茅ヶ崎カンパニー」は現在では約 60 名のメンバーが所属し、自主的な組織運営のもと、着実に活動の幅を広げている。 中心メンバーは「コミュニティグループ」「プロジェクト案件グループ」「広報・制作グループ」「コーポレートグループ」「助成金調達支援グループ」「企業案件・外部案件グループ」の 6 つのグループに分かれて役割を担い、主体的かつ柔軟にプロジェクトを推進している。今後は中心メンバーの負担を軽減するためにも、グループの再編を行い、新たな運営メンバーを募集していく。 湘南フードトラック協会では、IT ツールを積極的に活用することで、日々の運営業務の効率化や情報共有の迅速化を図り、煩雑になりがちな出店管理やスケジュール調整の簡略化を実現している。 また、各キッチンカーの魅力を発信するための広報活動にも力を入れており、SNS 等を活用した情報発信を通じて、地域とのつながりや認知度の向上を目指している。 加えて、出店場所の安定的な確保に向けて地元企業や施設との調整を行うほか、行政との連携にも積極的に取り組み、地域イベントや防災訓練などへの参画を通じて、地域社会に根ざした活動を展開している。
---	---	---

＜第3号議案＞

令和7年事業計画

＜基本方針＞

理事長に就任し2期目が終了したが、今期は今まで解決できていなかった、組織運営のあり方を改善していく。2023年にスタートした「茅ヶ崎カンパニー」には現在約60名のメンバーが所属しており、自主的な組織運営のもとで、活動の幅を着実に広げている。湘南スタイルの中核を担うプロジェクトとして、地域や市民活動に関わりたいという人々のニーズに応えたり、志を持って取り組んでいる活動家への人的サポートを行ったりする中で、湘南スタイルが地域の中で果たすべき役割が、より明確になってきたことを実感しています。今後は、行政との連携をさらに深め、地域課題の解決に向けた協働の幅を広げていきたいと考えてる。

＜会議予定＞

総 会	6月26日(金)	(正会員・会員)
理事会	偶数月 第3金曜日	(理事・監事・事務局長)
PJ 会議	随時設定	(リーダー・メンバー)
会計会議	毎月最終火曜日	(渡部・大澤)

実施事業

特定非営利活動に係る事業

① 湘南「みかんの木パートナーシップ」事業

＜内容＞引き続きみかんの木パートナーシップ組合の自主運営を促進する為に支援を行う。組合参加農家数は3軒(二挺木・井上・北原)。大磯町は町議会議員との連携が取れ行政の協力体制が構築できつつある。東海大学教養学部との産学連携も引き続き進めていく。今期も東海大学での3回の授業を予定。授業を通して、摘果みかんを活用した化粧品作りも昨年同様に行う予定。

また、関係が薄くなっていた東大みかん愛好会との連携も強化していきます。夏には摘果作業体験、下草刈りなどの作業、みかん狩りイベントのサポートなど。

いよいよ農家さんの引退が見えてくる中で湘南のみかん農業を持続可能な農業・産業にするための企業や新規就農者とのマッチングをさらに強化して行く。

・PJメンバー	中村(雅)・菊池(奈)・山口(直)・渡部
・対 象 者	みかん農家・JA 湘南・地元ボランティア・神奈川県 農業技術センター・加工業者・観光会社・CSR 推進企業 一般消費者・学生
・予 算 額	広報・パンフ・会議費・材料費・人件費等 84 万円

② ふれあい畑塾事業

＜内容＞農と触れ合いたい市民・企業と農家を結ぶ地域コミュニティ創出事業。
地域振興プログラムとして持続可能な仕組みで自主運営。生産緑地の指定から30年が経過し、生産緑地の解除が茅ヶ崎市でも進んでおり、農地が宅地や駐車場となっている場所が増えてきている。農地保全の観点からも畑塾の新たな区画の開発も進める。

・PJメンバー	鈴木塾長 渡部	
・対象者	畑ユーザー・湘南スタイルメンバー	
・予算額	入園料・講師料・イベント費・情報発信	110万円

③ 地場商材開発販売 「湘南工房」・農産加工品・おかゆ

＜内容＞競合する地場商品が増えていく中、地産地消・農家支援・規格外農産物の活用・障がい者の就労支援が出来る商品として、取り扱い企業のCSRに繋がる営業を展開し、新規の売り先の拡大を図る。

新規の卸先として相鉄線ゆめが丘駅直結の商業施設「ゆめが丘ソラトス」内にテナントとして入る「YYYard」との取引がスタートした。小売の他、YYYardが運営するカフェにも導入。今期は小売店だけでなく、カフェなどの飲食店への営業も積極的に行う。

東海大学・茅ヶ崎香料と共同開発した化粧品「S ボトル」は大磯町のふるさと納税にも採用され、今期は一般小売販売にも力を入れていく。

・PJメンバー	中村(雅) 渡部	
・対象者	デパート・ホテル・飲食店・ゴルフ場・小売店等	
・予算額	原料仕入・配送料・梱包資材・人件費等	450万円

④ 茅ヶ崎カンパニー(湘南ワンハンドレッドプロジェクト)

＜内容＞運営メンバーが中心となって自主的な組織運営が行われているが、メンバーも増えたこともあり、グループの再編とメンバーの入れ替えを行い組織のさらなる活性化をはかっていく。

トヨタ財団の助成金が2026年11月までとなるので、助成期間終了後も事業を継続・発展させていくために、持続可能な運営体制の構築とともに、安定的な財源確保にも力を入れていく。

・PJメンバー	内波 池田 山口(順) 中村(容) 市川(歩) 原 市川(靖) 小野寺 大西 中島 山口(直) 四條 渡部	
・対象者	神奈川県内の個人・企業・各種団体	
・予算額	会費・イベント収入・各種制作物・助成金	150万円

【進行中のプロジェクト】

- ・茅ヶ崎こども選挙
- ・茅ヶ崎こどもマルシェ
- ・てく学
- ・texi
- ・ペーニョ
- ・chigasaki-farmers-soup
- ・beniringo-loop-marche
- ・みんなの防災
- ・茅ヶ崎 100 年基金

⑤ 湘南フードトラック協会

〈内容〉日本フィランソロピック財団の「FCC 災害用キッチンカー基金」普及・啓発支援プログラムの助成金に採択された。助成金を活用して湘南フードトラック協会のホームページを整備し、災害時におけるキッチンカーの活用方法や出動体制、平時からの備えに関する情報を広く発信することで、地域住民の防災意識の向上とフードトラックの社会的役割の認知拡大を目指す。また、安定的な良質な出店場所の確保や、IT ツールを駆使した運営の簡素化は継続的に行っていく。

・PJ メンバー	内波 渡部	
・対 象 者	キッチンカー事業者・商業施設・一般消費者	
・予 算 額	出店料・イベント費・情報発信	300 万円

<第4号議案> 令和7年度 収支予算書

2054年4月1日から2026年3月31日まで

科 目	予算	法人繰入収入	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	54,000	54,000	12千円×3名/3千円×2名
2 法人会費	30,000	30,000	30,000円×1社
3 法人事業収入	100,000	20,000	業務受託料
4 湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	
5 湘南みかんパートナーシップ事業	840,000	120,000	みかんパートナー24口
6 ふれあい畑塾	1,100,000	950,000	40区画
7 地場商材開発販売「湘南工房」	4,500,000	700,000	みかん・トマトジュース・化粧品販売
8 ちがさきカンパニー(湘南100PRJ)	1,500,000	400,000	会費・イベント収入・制作物・業務委託
9 湘南フードトラック協会	3,000,000	500,000	業務委託費
10 トヨタ財団	2,800,000	0	経理委任
当期収入計(A)	13,924,000	2,774,000	
その他収益事業会計より繰り入れ	0	0	
当期収入合計 (A)	13,924,000	2,774,000	
II 支出の部			
1 事業費	総事業費		
①湘南スタイル交流会・イベント費	0		会費・イベント等
②湘南みかんパートナーシップ事業	720,000		みかん・パートナーシップみかん代金
③ふれあい畑塾	150,000		地代・イベント費等
④地場商材開発販売「湘南工房」	3,800,000		みかん・トマト・原材料等
⑤ちがさきカンパニー(湘南100PRJ)	1,100,000		会場費・謝金
⑥湘南フードトラック協会	2,500,000		業務委託費・謝金
⑦トヨタ財団	2,800,000		会議費・販促費・振込手数料
当期事業支出(B)	11,070,000		
2 管理費			
① 給料手当	1,800,000		団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	0		アルバイトスタッフ等
③ 運賃	20,000		加工品発送等 ヤマト運輸
④ 会議費	30,000		勤労市民会館 プロジェクト会議
⑤ 旅費交通費	10,000		レンタカー・交通費等
⑥ 通信費	80,000		電話・郵便・新聞
⑦ 消耗品費	120,000		事務関連
⑧ 水道光熱費	0		
⑨ 諸会費	20,000		諸会費・寄付交際費
⑩ 支払手数料	60,000		振込料、代引手数料
⑪ 賃借料	0		
⑫ 保険料	50,000		NPO団体保険料
⑬ 租税公課	150,000		法人税・県民税・収入印紙
⑭ 雑費	10,000		
⑮ 顧問料	290,000		税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	10,000		コピー・パンフレット
⑰ Webコンテンツ制作費	50,000		Webサイト更新
⑱ イベント費	50,000		イベント費
⑲ 業務委託料	80,000		
事業管理費計(C)	2,830,000		
当期事業支出 (D) (B)+(C)	13,900,000		
当期収益 (E) (A)-(D)	24,000		
その他事業会計より繰入	0		
営業外損益 (F)	0		
借入金返済支出	0		
経常利益 (G)=(E)-(F))	24,000		
次期繰越金	0		

<第5号議案>

理事及び監事の再任(重任)及び新任

理事及び監事の任期満了にともない、理事及び監事候補者の再任及び新任の承認をもとめます。

理事候補者	渡部健	再任
理事候補者	内波義雄	新任
理事候補者	池田一彦	新任
監事候補者	四條邦夫	再任

任期(2年) 2025年4月1日～2027年3月31日まで

※定款第16条の2に定める、規定の通り本総会での決議とする。

定款第16条の2

任期満了後後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終了するまでその任期を伸長する。

退任	清水謙	任期満了
退任	市川靖洋	任期満了
退任	那須かおり	任期満了

～会費納入のお願い～

2025 年度会費納入を会員各位にお願い申し上げます。本総会終了後に次年度分の会費を受付させていただきます。

お振り込み希望の方は以下の口座にお願いいたします。

湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部 普通 4205592 トクヒ) ショウナンススタイル

正会員	12,000 円
会員	3,000 円
法人会員	30,000 円(一口)